

乳用育成牛（長期）への和牛胚移植が好成績

当場の乳用育成牛には、従来の長期（約4か月齢で買い上げ1年半育成）と短期（約12か月齢で買い上げ半年育成）があり、これらの育成牛には基本的に和牛胚を移植し、和牛の増産に貢献しています。

胚移植は、1回の受胎率が60%以上であれば全国トップクラスになりますが、今年の育成牛（長期）への和牛胚移植は非常にハイレベルで、受胎率は75%を上回り、平均15.6か月齢で21頭すべて受胎（移植27回）しました。



腹容豊かな長期育成牛（上）



乳用育成牛繁殖状況			
牛番号	ET & OAI	発情状況	ET & OAI
101	○	○	○
102	○	○	○
103	○	○	○
104	○	○	○
105	○	○	○
106	○	○	○
107	○	○	○
108	○	○	○
109	○	○	○
110	○	○	○
111	○	○	○
112	○	○	○
113	○	○	○
114	○	○	○
115	○	○	○
116	○	○	○
117	○	○	○
118	○	○	○
119	○	○	○
120	○	○	○
121	○	○	○
122	○	○	○
123	○	○	○
124	○	○	○
125	○	○	○
126	○	○	○
127	○	○	○
128	○	○	○
129	○	○	○
130	○	○	○
131	○	○	○
132	○	○	○
133	○	○	○
134	○	○	○
135	○	○	○
136	○	○	○
137	○	○	○
138	○	○	○
139	○	○	○
140	○	○	○
141	○	○	○
142	○	○	○
143	○	○	○
144	○	○	○
145	○	○	○
146	○	○	○
147	○	○	○
148	○	○	○
149	○	○	○
150	○	○	○

好成績を示す繁殖管理ボード（右）

畜産技術センター
碓高原牧場